

水の大切さを知って

葛飾区立小松南小学校

五年一組

上^{かみ}え^の菌^の 伸^{しん}悟^ご

小学校の授業でSDG^sについて勉強しました。ぼくが興味を持ったのは、アフリカの感染症を防ぐプロジェクトの話でした。

水の話です。水道がないから清けつな水で手洗いかできません。国連の「死亡率すい計に関する機関間グループ」の報告書では、二〇一七年に五才未満で亡くなっただ子供は、年間五四〇万人、その半数がサハラ以南のアフリカ地域で亡くなっています。

水道がないので、手洗いの習慣がありません。使っている水は、子供達が川からくんでまっています。不衛生な水を使うから感染症が流行します。だから感染症で亡くなる人が多

いといふことでした。
最初、水道がないことに驚きました。ぼくが毎日ふ通に使っていて、じつ口を上げればうがいをする時も、手を洗う時も透明で清け

つで飲むこともできる、安全な水が出てき
 ます。アフリカの人達はとても困っているだろ
 うと思いました。プロジェクトでは、かんい
 式の水道を設置して、手洗いの習慣化の大切
 さを現地の子供達に教えていました。

この授業の後、四年生るときに勉強した水
 の資料を読み返してみました。二〇一七年の
 時点で、世界では二十億人が安全に管理さ
 れた飲み水を使うことができないと書かれて
 いました。処理されていない湖や川などの水

をそのまま使っている地域もあり、時には命
 をおとしてしまうこともあるそうです。

ぼくが使っている水はとても貴重なのだと
 思いました。東京のぼくが住んでいる地域の
 水は、においもなく安全でおいし水です。

高度浄水処理をされているからです。オゾン
 処理はにおいのもとを分解し、生物活性炭
 による着処理がにおいのもとを食べます。この

おかげで安全です。またこの水を守るために、
 水道局のたぐ山の職員の方達が二十四時間体

制で水を管理してくれていることを知り、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

清けつな水がないと困るし、体を健康な状態にしていることも難しくなります。誰かが病気になる、その人も苦しいけれど、その人の家族も悲しくて苦しいと思います。水を清けつに、安全に管理してくれている人達ばかり、達健康も家族の生活も守ってくれていて、東京のヒーローのような存在です。

ほくにも協力できることを考えてみました。

うがいの時はコップに水を入れて使うことと、顔を洗う時は水を流し、ばなしないこと、は、これからもずっと続けていこうと思ひます。

そして、水の大切さと、清けつで安全な水を守ってくれている人達への感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。